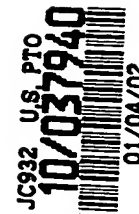


日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

2



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日

Date of Application:

2001年 4月 6日

出願番号

Application Number:

特願2001-109200

出願人

Applicant(s):

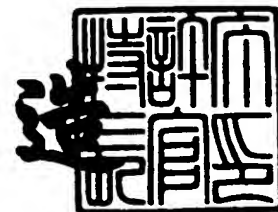
シャープ株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 8月31日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3080042

【書類名】 特許願

【整理番号】 00J04015

【提出日】 平成13年 4月 6日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G03G 21/00 376  
G03G 15/00  
G06F 3/12

【発明の名称】 画像形成装置

【請求項の数】 9

【発明者】  
【住所又は居所】 大阪府大阪市阿倍野区長池町 2 2 番 2 2 号 シャープ株  
式会社内  
【氏名】 岡本 裕次

【特許出願人】  
【識別番号】 000005049  
【氏名又は名称】 シャープ株式会社

【代理人】  
【識別番号】 100080034  
【弁理士】  
【氏名又は名称】 原 謙三  
【電話番号】 06-6351-4384

【手数料の表示】  
【予納台帳番号】 003229  
【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】  
【物件名】 明細書 1  
【物件名】 図面 1  
【物件名】 要約書 1  
【包括委任状番号】 9003082

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像形成装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

それぞれに表示部を備え、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置とプリンタ装置とを少なくとも備えて構成される画像形成装置において、

前記スキャナ装置の表示部には図形表示可能な大型の表示装置が用いられ、

前記スキャナ装置の表示制御部と前記プリンタ装置の表示制御部とは相互に連携し、該表示制御部は、プリンタ装置の単体使用時には該プリンタ装置の表示部での表示を許容し、プリンタ装置とスキャナ装置との組合わせたの使用時には、予め定める条件でのみ前記プリンタ装置の表示部での表示を許容し、前記予め定める条件以外ではその組合わせたの使用に関する情報を前記スキャナ装置の表示部のみで行うことを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記スキャナ装置およびプリンタ装置は、それぞれ前記表示部に関連して入力部を備え、前記表示制御部は対応する表示部での表示が許容されている場合に、入力部での入力を許容することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記プリンタ装置は、前記表示制御部によって制御されて、表示部での表示が許容されていない場合に、該表示部を使用者から視認不可能にする遮蔽部材を備えることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記予め定める条件は、プリンタ装置で表示される情報が、前記プリンタ装置とスキャナ装置との組合わせたの使用に関する情報とは個別の情報であることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れかに記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記予め定める条件は、スキャナ装置の故障であり、前記プリンタ装置の表示制御部は、スキャナ装置の状態を表示させることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れかに記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記プリンタ装置の表示制御部は、前記スキャナ装置の状態と、該プリンタ装置の状態とを交互表示させることを特徴とする請求項 5 記載の画像形成装置。

【請求項 7】

前記予め定める条件は、前記スキャナ装置を含むプリンタ装置に組合わせて使用される装置の故障であり、該プリンタ装置の表示制御部は、その故障の状態を表示させることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れかに記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記予め定める条件は、プリンタ装置の入力部の操作であり、該プリンタ装置の表示制御部は、該プリンタ装置に関する情報を表示させることを特徴とする請求項 2 または 3 記載の画像形成装置。

【請求項 9】

それぞれに表示部を備え、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置とプリンタ装置とを少なくとも備えて構成される画像形成装置において、

前記スキャナ装置の表示部としては図形表示可能な大型の表示装置が前面側に搭載され、

前記プリンタ装置の表示部は背面に近い上面側に設けられ、該プリンタ装置は使用者の下方に位置し、該プリンタ装置の上方に前記スキャナ装置が配置されることを特徴とする画像形成装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、それぞれに表示部を備え、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置とプリンタ装置とを少なくとも備えて構成され、複写機などとして実現される画像形成装置に関する。

【 0 0 0 2】

【従来の技術】

原稿画像を光学的に読取るスキャナ装置と、用紙に画像を形成するプリンタ装置とが、前記のように、それぞれパーソナルコンピュータの周辺機器として単体

動作可能となっており、またそれらをシステムとして組合わせることで、前記複写機やファクシミリ装置などの機能を実現する画像形成装置が広く用いられるようになっている。

## 【 0 0 0 3 】

ここで、印字枚数などのプリンタ装置に関する設定等に必要な情報は、パーソナルコンピュータ等の印字データの送出側で表示されるので、該プリンタ装置には、たとえば2行程度の片仮名や英字を表示可能な小型の表示部が設けられている。一方で、スキャナ装置には、読取ったデータを送出したりするにあたって、読取り条件や送出先の設定、あるいは電子メールとして送出する場合のメールアドレスの入力等に必要な情報を表示するために、また前記プリンタ装置との組合わせによって複写機として使用される場合に、用紙サイズを選択や複写枚数の設定などを行うために、図形表示可能な大型の表示部が用いられている。

## 【 0 0 0 4 】

そして、それらを組合わせて前記複写機などとして使用する際に、従来では、それぞれの装置の状態は、それぞれの表示部に表示されている。したがって、プリンタ装置側の表示部では短いメッセージでしか表示できず、2行以上のメッセージの場合は、UPキーやDOWNキー等の操作によって表示を切替えなければならない。このため、ジャムや故障時の処置手順などの複雑な表示を行うには、操作が煩雑であった。

## 【 0 0 0 5 】

そこで、このような不具合を解消するために、典型的な従来技術の特開平 8 - 2 9 7 3 8 8 号公報には、それぞれ単体としても使用できるスキャナユニットとプリンタユニットとを組合わせて使用するにあたって、プリンタユニット側のエラーやステータスをスキャナユニット側の表示入力装置（操作パネル）にて表示する構成が示されている。

## 【 0 0 0 6 】

また、他の従来技術の特開平 6 - 2 5 3 0 8 4 号公報には、プリンタ機能、コピー機能、ファクシミリ機能等の複数種の機能を有する複合機能端末装置において、機能を拡張する際に、標準装備されている操作パネルと、拡張表示手段とし

て着脱可能な操作パネルとを連動可能に制御し、経済性を向上させる技術が提案されている。

## 【 0 0 0 7 】

## 【発明が解決しようとする課題】

上述のような従来技術では、スキャナ装置や別付けの大型の表示部を用いて、プリンタ装置に関する複雑な表示を実現しているけれども、使用者は、多数存在する表示部のいずれを参照すればよいのか、戸惑うことになる。たとえば、スキャナ装置とプリンタ装置との組み合わせでは、通常、それぞれ上方側および下方側に配置されるそれらの装置のそれぞれの表示部に対して、使用者はその両方を参照して、より有効な方の表示に基づいて処置を行うことになる。

## 【 0 0 0 8 】

本発明の目的は、スキャナ装置の大型の表示部を有効に使用することができるとともに、表示部を参照するにあたっての煩雑さを解消することができる画像形成装置を提供することである。

## 【 0 0 0 9 】

## 【課題を解決するための手段】

本発明の画像形成装置は、それぞれに表示部を備え、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置とプリンタ装置とを少なくとも備えて構成される画像形成装置において、前記スキャナ装置の表示部には図形表示可能な大型の表示装置が用いられ、前記スキャナ装置の表示制御部と前記プリンタ装置の表示制御部とは相互に連携し、該表示制御部は、プリンタ装置の単体使用時には該プリンタ装置の表示部での表示を許容し、プリンタ装置とスキャナ装置との組合わせての使用時には、予め定める条件でのみ前記プリンタ装置の表示部での表示を許容し、前記予め定める条件以外ではその組合わせての使用に関する情報を前記スキャナ装置の表示部のみで行うことを特徴とする。

## 【 0 0 1 0 】

上記の構成によれば、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置とプリンタ装置とを少なくとも備えて構成され、複写機などとしての機能を実現する画像形成装置において、印字枚数などのプリンタ装置に関する設定等に必要と

なる情報は、パーソナルコンピュータ等の印字データの送出側で表示されるので、元々プリンタ装置の表示部は小型のものとなっている。一方で、スキャナ装置には、読取ったデータを送出したりするにあたって、読取り条件や送出先の設定等に必要な情報を表示するために、スキャナ装置の表示部には図形表示可能な大型の表示部が用いられる。

## 【 0 0 1 1 】

そこで、それらを組合わせて前記複写機などとして使用する際には、プリンタ装置に関する情報も大型のスキャナ装置の表示部に表示することが考えられる。しかしながら、何の制約もなくそのように表示を行うと、通常、たとえばそれぞれ上方側および下方側に配置されるスキャナ装置およびプリンタ装置のそれぞれの表示部に対して、使用者は何れを参照すればよいか戸惑うことになる。

## 【 0 0 1 2 】

したがって、本発明は、故障時などの予め定める条件を設けて、前記複写機動作などの組合わせての使用にあたって、通常時には、前記スキャナ装置の表示部のみで表示を行うようにする。これによって、使用者は表示の行われている一方の装置の表示部のみを参照すればよく、煩雑さを解消し、操作性および利便性を向上することができる。また、省電力効果も期待することができる。

## 【 0 0 1 3 】

また、本発明の画像形成装置では、前記スキャナ装置およびプリンタ装置は、それぞれ前記表示部に関連して入力部を備え、前記表示制御部は対応する表示部での表示が許容されている場合に、入力部での入力を許容することを特徴とする。

## 【 0 0 1 4 】

上記の構成によれば、表示部に対して、隣接して設けられたり、あるいはタッチパネルなどとして一体で設けられることが多い入力部からの入力操作も、表示制御部によって、対応する表示部での表示が許容されているか否かに応じて、許容されるか禁止されるかが決定される。

## 【 0 0 1 5 】

したがって、使用者は、表示の行われている表示部に隣接した、または一体の



入力部からのみ入力操作を行えばよく、該入力操作を簡単に行うことができる。

【 0 0 1 6 】

さらにまた、本発明の画像形成装置では、前記プリンタ装置は、前記表示制御部によって制御されて、表示部での表示が許容されていない場合に、該表示部を使用者から視認不可能にする遮蔽部材を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

上記の構成によれば、表示が行われない場合は、スライドシャッタなどで実現される遮蔽部材によって該表示部自体を使用者から視認不可能にするので、使用者は表示が行われているか否かを確認するまでもなく、表示部自体を視認することができるスキヤナ装置の表示部を確認すればよく、煩雑さを一層解消することができる。

【 0 0 1 8 】

また、本発明の画像形成装置では、前記予め定める条件は、プリンタ装置で表示される情報が、前記プリンタ装置とスキヤナ装置との組合わせたの使用に関する情報とは個別の情報であることを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

上記の構成によれば、前記プリンタ装置とスキヤナ装置との組合わせたの使用時には、プリンタ装置の表示部には、たとえば目付／時間や、遊び感覚のキャラクタ等の前記組合わせたの使用に関する情報とは個別の情報が表示されるので、前記のように表示を確認するための煩雑さを解消しつつ、使用者に他の情報を提供することができる。

【 0 0 2 0 】

さらにまた、本発明の画像形成装置では、前記予め定める条件は、スキヤナ装置の故障であり、前記プリンタ装置の表示制御部は、スキヤナ装置の状態を表示させることを特徴とする。

【 0 0 2 1 】

上記の構成によれば、スキヤナ装置に故障が発生すると、その大型の表示部が十分に機能しない可能性があるので、プリンタ装置の表示部を利用して、スキヤナ装置の状態を表示することで、使用者にいち早く故障を報知することができ、

故障による停止時間を低減することができる。

【 0 0 2 2 】

また、本発明の画像形成装置では、前記プリンタ装置の表示制御部は、前記スキャナ装置の状態と、該プリンタ装置の状態とを交互に表示させることを特徴とする。

【 0 0 2 3 】

上記の構成によれば、スキャナ装置の故障に伴って、その状態をプリンタ装置側で表示するにあたって、該プリンタ装置自体の状態と交互に表示を行うので、プリント状態も使用者に報知することができる。

【 0 0 2 4 】

さらにまた、本発明の画像形成装置では、前記予め定める条件は、前記スキャナ装置を含むプリンタ装置に組合わせて使用される装置の故障であり、該プリンタ装置の表示制御部は、その故障の状態を表示させることを特徴とする。

【 0 0 2 5 】

上記の構成によれば、前記スキャナ装置の故障とともに、給紙装置や排紙装置等の他のオプション装置に関しても、故障発生時にはその状態を表示する。したがって、その機能選択時にのみ故障表示となり、通常は故障していることを表示せず、使用者に報知することが遅れ、対応までに時間がかかっていたのを、前述のように大型の表示部が装着されることで通常は表示を行わない該プリンタ装置の表示部で故障部位があることを表示することによって、使用者を注目させ、いち早く故障の発生を報知することができ、故障による停止時間を低減することができる。

【 0 0 2 6 】

また、本発明の画像形成装置では、前記予め定める条件は、プリンタ装置の入力部の操作であり、該プリンタ装置の表示制御部は、該プリンタ装置に関する情報を表示させることを特徴とする。

【 0 0 2 7 】

上記の構成によれば、プリンタ装置が操作された場合、使用者は該プリンタ装置に関する情報を得ようとしているので、これに応じて該プリンタ装置の状態を

表示することで、分り易いインタフェイスを実現することができる。

【 0 0 2 8 】

さらにまた、本発明の画像形成装置は、それぞれに表示部を備え、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置とプリンタ装置とを少なくとも備えて構成される画像形成装置において、前記スキャナ装置の表示部としては図形表示可能な大型の表示装置が前面側に搭載され、前記プリンタ装置の表示部は背面に近い上面側に設けられ、該プリンタ装置は使用者の下方に位置し、該プリンタ装置の上方に前記スキャナ装置が配置されることを特徴とする。

【 0 0 2 9 】

上記の構成によれば、プリンタ装置が単体で使用される際には、該プリンタ装置の表示部の上方には何もないので、該表示部は使用者の視認領域内に位置するのに対して、スキャナ装置と組合わされて使用される際には、上方にスキャナ装置が配置されることになるので、使用者は該表示部を視認することができなくなる。

【 0 0 3 0 】

したがって、構造的に、プリンタ装置の表示部の視認を可能／不可能に切換えることができ、煩雑さを解消し、操作性および利便性を向上することができる。

【 0 0 3 1 】

【発明の実施の形態】

本発明の実施の一形態について、図 1 ～図 1 3 に基づいて説明すれば、以下のとおりである。

【 0 0 3 2 】

図 1 は、本発明の実施の一形態の画像形成装置 1 の縦断面図である。この画像形成装置 1 は、プリンタ装置 2 を核に、スキャナ装置 3、自動原稿搬送装置 4、シート後処理装置 5、多段給紙ユニット 6、中継搬送ユニット 8 および両面搬送ユニット 1 0 が接続され、機能が拡張されている。スキャナ装置 3 は、その上部に配置された自動原稿搬送装置 4 と共に、システムラック 7 上に支持されることで、プリンタ装置 2 およびシート後処理装置 5 の上方に配置されている。

【 0 0 3 3 】

前記プリンタ装置 2 は、スキャナ装置 3 にて読込まれた画像の記録出力はもとより、パーソナルコンピュータなどの画像処理装置が接続されると、この外部接続機器からの画像データを記録出力するものである。また、スキャナ装置 3 は、シート物の原稿を自動原稿搬送装置 4 によって自動的に供給して 1 枚ずつ順次露光走査して原稿画像を読取る自動読取りモードと、ブック物の原稿、もしくは自動原稿搬送装置 4 によって自動供給が不可能なシート物の原稿をマニュアル操作でセットして原稿画像を読取る手動読取りモードとを備えている。本発明では、これらプリンタ装置 2 およびスキャナ装置 3 は、それぞれ単独でも使用可能であり、このようにシステム構成されることで協働動作を実現し、複写機およびファクシミリ装置としても使用可能となっている。

## 【 0 0 3 4 】

前記プリンタ装置 2 において、装置本体の略中央左側には、ドラム状の感光体 2 0 a を中心とする電子写真プロセス部 2 0 が配置されている。感光体 2 0 a の周囲には、該感光体 2 0 a の表面を均一に帯電させる帯電ローラ 2 0 b と、均一に帯電された該感光体 2 0 a 上に光像を走査して静電潜像を書込む光走査ユニット 2 2 と、光走査ユニット 2 2 によって書込まれた静電潜像を現像剤で顕像化する現像ユニット 2 0 c と、感光体 2 0 a 上に記録再現された画像を用紙上に転写する転写ユニット 2 0 d と、感光体 2 0 a 上に残留した現像剤を除去して感光体 2 0 a 上に新たな画像を記録することを可能にするクリーニングユニット 2 0 e と、感光体 2 0 a の表面の電荷を除去する除電ランプユニット（図示せず）などが順次配置されている。

## 【 0 0 3 5 】

プリンタ装置 2 の本体の下側には、該本体内に内装された用紙供給部 2 1 が配置されている。用紙供給部 2 1 は、用紙を収容する用紙収容トレイ 2 1 a と、用紙収容トレイ 2 1 a に収容された用紙を 1 枚ずつ分離供給する分離供給手段 2 1 b とで構成されている。この用紙供給部 2 1 から 1 枚ずつ分離供給された用紙は、電子写真プロセス部 2 0 の感光体 2 0 a と転写ユニット 2 0 d との間に順次供給され、感光体 2 0 a 上に記録再現された画像が転写される。なお、この用紙供給部 2 1 への用紙の補給は、プリンタ装置 2 の本体の正面側に用紙収容トレイ 2

1 a を引出して行われる。

【 0 0 3 6 】

前記プリンタ装置 2 の本体の下面には、周辺機器として準備されている多段給紙ユニット 6 等から送られてくる用紙を受入れ、電子写真プロセス部 2 0 の感光体 2 0 a と転写ユニット 2 0 d との間に向かって順次供給するための用紙受口 2 7 が設けられている。

【 0 0 3 7 】

電子写真プロセス部 2 0 の上方には定着装置 2 3 が配置されており、画像が転写された用紙を順次受け入れて、用紙上に転写された現像剤を加熱定着して定着装置 2 3 外へと用紙を送出す。画像が記録された用紙は、プリンタ装置 2 の排出ローラ 2 8 からプリンタ装置 2 の本体の上面の中継搬送ユニット 8 に受渡される。

【 0 0 3 8 】

光走査ユニット 2 2 の上下の空間部には、電子写真プロセスをコントロールするプロセスコントロールユニット（PCU）基板および装置外部からの画像データを受入れるインタフェイス基板を収容するプリンタ装置制御部 2 4、前記インタフェイス基板から受入れられた画像データに対して所定の画像処理を施し、光走査ユニット 2 2 によって画像として走査記録させるためのイメージコントロールユニット（ICU）基板を備えた画像制御部 2 5 および前記の各種基板やユニットに対して電力を供給する電源ユニット 2 6 などが配置されている。

【 0 0 3 9 】

多段給紙ユニット 6 は、外付けの用紙供給装置であって、3つの用紙供給部 6 1、6 2、6 3 を有している。各用紙供給部 6 1、6 2、6 3 の用紙収容トレイ 6 1 a、6 2 a、6 3 a に収容した用紙を、分離給送手段 6 1 b、6 2 b、6 3 b によってそれぞれ 1 枚ずつ分離して、該ユニット上面に設けられて、プリンタ装置 2 の前記用紙受口 2 7 に連通している用紙排出口 6 5 に向かって供給する。本発明では、稼働時、所望とするサイズの用紙を収容した用紙供給部 2 1、6 1、6 2、6 3 が選択的に動作する。用紙供給部 6 1、6 2、6 3 への用紙の補給は、該ユニット本体の正面側に用紙収容トレイ 6 1 a、6 2 a、6 3 a を引出す

ことで行われ、用紙供給部 6 2 と 6 3 とには、同一サイズの下紙が収納される。

【 0 0 4 0 】

また、多段給紙ユニット 6 は、上部にプリンタ装置 2 と後処理装置 5 とを載置するように構成されているけれども、この状態で移動してシステムラック 7 の間に固定して配置可能なように、下部に移動コロ 6 7 および固定部 6 6 を備えている。移動時には、固定部 6 6 を回転して上昇することで該固定部 6 6 を床面から離間し、固定時には、該固定部 6 6 を回転して下降することで該固定部 6 6 を床面に接触させて、多段給紙ユニット 6 を固定する。なお、今回の説明では 3 つの下紙供給部 6 1, 6 2, 6 3 を備える構成を説明しているけれども、1 つまたは 2 つもしくは 4 つ以上であってもよく、また複数の下紙供給部の総てが積層配置される構成であってもよい。

【 0 0 4 1 】

シート後処理装置 5 は、該装置の上部で中継搬送ユニット 8 またはプリンタ装置 2 から排出される画像の記録された下紙を搬入ローラ 5 0 で導き入れて、下紙に対して後処理を施すものである。後処理としては、ステーブル処理、ソート処理等あるが、ここに例示されている装置は、3 つの排紙トレイ 5 1 a, 5 1 b, 5 1 c を備えた構成であって、必要に応じて、ゲート 5 2, 5 3 によって下紙を排出する排紙トレイ 5 1 を切換えてシートを排出して、たとえば上段の排紙トレイ 5 1 a をコピーモード時の下紙の排出に使用し、中段の排紙トレイ 5 1 b をプリントモード時の下紙の排出に使用し、下段の排紙トレイ 5 1 c をファクシミリ印字モード時の下紙の排出に使用するといった具合に、用途別に区分けして排出できるようにになっている。

【 0 0 4 2 】

スキャナ装置 3 は、透明な原稿載置台 3 0 上にセットされた原稿の画像を、相互に所定の速度関係で原稿載置台 3 0 に沿って移動する第 1 走査ユニット 3 1 および第 2 走査ユニット 3 2 で露光走査して、ミラーや結像レンズ 3 3 等の光学部品で導いて光電変換素子 3 4 上に結像させることで、原稿画像を電氣的信号に変換した上で出力するものである。

【 0 0 4 3 】

自動原稿搬送装置 4 は、原稿セットトレイ 4 0 上に載置された原稿を原稿載置台 3 0 上に向かって搬送し、走査後の原稿を原稿排出トレイ 4 2 上に排出する原稿搬送手段 4 1 を備えている。また、自動供給が不可能なシート物の原稿を原稿載置台 3 0 上に載置して走査可能なように、装置奥側を支点にして上方に回転して、装置の手前側が開放するように構成されている。

## 【 0 0 4 4 】

中継搬送ユニット 8 は、プリンタ装置 2 の頂部に設けられた排紙トレイ 2 9 の上部に装着され、プリンタ装置 2 から排出される画像が記録された用紙を、プリンタ装置 2 の下流側に位置するシート後処理装置 5 に向かって導入するための搬送ユニットである。また、この中継搬送ユニット 8 の用紙搬送経路 8 4 の途中で、該ユニットの上面 8 2 とシート後処理装置 5 の上面 5 4 とで形成された排出トレイ 9 に用紙を導く別の用紙搬送路 8 3 が分岐している。2 つの排出先は、搬送路の分岐部に配置されたゲート 8 1 の切換えによって変更可能になっている。

## 【 0 0 4 5 】

前記排出トレイ 9 は、用紙の反転搬送路として使用されるようにもなっており、外付けの両面搬送ユニット 1 0 と合わせて、用紙の両面への画像形成を実現する。このため、前記排出ローラ 2 8 は正逆両方向に回転可能となっている。定着の終了した用紙は、前記ゲート 8 1 が図 1 の実線側に切換わっていると、前記シート後処理装置 5 が装着されている場合には前記搬入ローラ 5 0 へ排出され、シート後処理装置 5 が装着されていない場合には排出トレイ 9 へ排出される。そして、前記のように前記排出トレイ 9 が反転搬送路として使用される場合には、用紙が引き戻され、破線側に切換わっているゲート 8 1 を介して、両面搬送路 1 1 に反転搬送される。このようにして、用紙の両面への画像形成が可能となっている。

## 【 0 0 4 6 】

図 2 は、前記プリンタ装置 2 およびスキャナ装置 3 の表示制御に関する構成を示すブロック図である。プリンタ装置 2 には小型の LCD（液晶表示装置）で実現される表示部 2 0 1 が設けられるのに対して、スキャナ装置 3 には大型の LCD で実現される表示部 3 0 1 が設けられ、注目すべきは、本発明では、プリンタ

装置 2 の単体使用時には、該プリンタ装置 2 の小型の表示部 2 0 1 にジャム処理等の諸情報を表示し、スキャナ装置 3 との協働使用時には、スキャナ装置 3 側の大型の表示部 3 0 1 に、該スキャナ装置 3 の情報だけでなく、プリンタ装置 2 側の情報までも表示するように構成されていることである。そして、通常状態では、プリンタ装置 2 の表示部 2 0 1 は、ブランク表示となっている。

## 【 0 0 4 7 】

具体的に説明すると、スキャナ装置 3 側の表示部 3 0 1 は、その表示制御部である SCANNER コントローラ 3 0 2 に接続され、その SCANNER コントローラ 3 0 2 がプリンタ装置 2 側の表示部 2 0 1 の表示制御部であるプリンタコントローラ 2 0 2 にバスライン等を介して接続される。すなわち、本画像形成装置 1 において、スキャナ装置 3 側の表示部 3 0 1 に表示されるスキャナ装置 3、プリンタ装置 2 およびシステム全体に関する詳細情報は、共に前記プリンタコントローラ 2 0 2 にて制御されている。従って、本画像形成装置 1 においては、プリンタ装置 2 およびスキャナ装置 3 の両方の表示内容が、プリンタコントローラ 2 0 2 の V R A M (Video Random Access Memory) 2 0 3 中に予め格納されている。

## 【 0 0 4 8 】

このように、プリンタ装置 2 およびスキャナ装置 3 それぞれの表示に関する情報が、プリンタ装置 2 に備えられているプリンタコントローラ 2 0 2 にて一元化管理されるので、メモリが節約されることになる。但し、この場合、プリンタ装置 2 内の V R A M 2 0 3 は、スキャナ装置 3 と組合わされる（システムアップされる）場合に備えて、予めスキャナ装置 3 側の大型の表示部 3 0 1 に表示すべき内容の情報も備えている。つまり、スキャナ装置 3 がない場合のシステムの表示情報は、小型の表示部 2 0 1 に表示すべきカタカナ表示データと、大型の表示部 3 0 1 に表示すべき絵データおよび文字データとの両方が、表示情報毎に、V R A M 2 0 3 中に格納されている。一方、スキャナ装置 3 がある場合のシステムの表示情報は、大型の表示部 3 0 1 に表示すべき絵データおよび文字データだけが、表示情報毎に、V R A M 2 0 3 中に格納されている。

## 【 0 0 4 9 】

また、プリンタ装置 2 側の表示部 2 0 1 のドライバは、ENGINE コントローラ 2



04 が有している。すなわち、プリンタコントローラ 202 から送られる文字列コマンドにて、ENGINEコントローラ 204 がプリンタ装置 2 側の表示部 201 の表示を行う。ENGINEコントローラ 204 は、さらに後述の各種のキーから成る操作部 210 への入力操作にตอบสนองして、前記プリンタコントローラ 202 へコマンドを送信する。つまり、ENGINEコントローラ 204 は、どのキーが操作されたのかを認識して、プリンタコントローラ 202 に知らせる。

## 【0050】

また、スキャナ装置 3 側の各種のキーから成る操作部 310 への入力操作にตอบสนองして、SCANNER コントローラ 302 は前記プリンタコントローラ 202 にコマンドを送信する。つまり、SCANNER コントローラ 302 は、どのキーが操作されたのかを認識して、プリンタコントローラ 202 に知らせる。

## 【0051】

図 3 は、スキャナ装置 3 に設けられる操作パネル 300 の正面図である。この操作パネル 300 は、スキャナ装置 3 の上面に設けられ、前述の大型の表示部 301 と、操作部 310 とを備えて構成されている。本発明では、この操作パネル 300 でシステム全体の制御が行えるようになっている。前記操作部 310 に配置される各種のキーは、スタートキー 311 と、オールクリアキー 312 と、クリアキー 313 と、テンキー 314 と、モード切換えキー群 315 のプリントモードキー 315 a、イメージセンドキー（スキャンモードキー）315 b、コピーモードキー 315 c およびジョブステイタスキー 315 d とである。

## 【0052】

スタートキー 311 は、各種キーによって設定されたモードによる処理の開始を指示するためのキーである。オールクリアキー 312 は、画像形成装置 1 に対して設定された状態を全てクリアにして標準の状態に復帰させるためのキーである。クリアキー 313 は、テンキー 314 等によって入力された条件をクリアにするキーである。テンキー 314 は、コピー枚数等の数値情報を入力するためのキーである。モード切換えキー 315 a、315 b、315 c は、処理モードを切換えるためのキーである。また、ジョブステイタスキー 315 d とは、ジョブの進行状態画面の表示キー（待ちジョブ表示のためのキー）である。

## 【 0 0 5 3 】

上述のように構成される操作パネル 3 0 0 の表示部 3 0 1 におけるデフォルト画面（待機画面）は、図 4 に示すようなコピーモード画面である。ここで、処理モードを切替えるために、たとえばイメージセンドキー 3 1 5 b を操作すると、コピーモードからイメージセンドモードに切替わり、表示部 3 0 1 に表示される画面は図 5 に示すものとなる。ここで、スキャンモードとは、ファクシミリ送信、SCAN TO E-mail、SCAN TO FTP (FTP:File Transfer Protocol) 等のように、スキャナ装置 3 で読取った原稿画像データを相手先に送信する処理モードのことである。

## 【 0 0 5 4 】

また、ジョブステイタスキー 3 1 5 d とは、前述のようにジョブの進行状態画面の表示キーであり、使用者が操作すると、図 6 に示すような画面が表示され、現在の待ちジョブがどうなっているのかが分かるようになっている。

## 【 0 0 5 5 】

一方、上述したように、プリンタ装置 2 は単独でも使用可能となるように構成されているので、該プリンタ装置 2 にも、図 7 で示すような操作パネル 2 0 0 が搭載されている。この操作パネル 2 0 0 は、前述の小型の表示部 2 0 1 と、LED (Light Emitting Diode) から成る表示部 2 0 5 と、前記操作部 2 1 0 とを備えて構成されている。表示部 2 0 5 は、該プリンタ装置 2 の状態に応じて点灯／消灯する。

## 【 0 0 5 6 】

前記操作部 2 1 0 としては、メニューキー 2 1 1、アップキー 2 1 2、ダウンキー 2 1 3、バック／終了キー 2 1 4、確定キー 2 1 5 およびインフォメーションキー 2 1 6 が設けられている。

## 【 0 0 5 7 】

上述のように構成される画像形成装置 1 において、以下にスキャナ装置 3 側の表示部 3 0 1 による表示例と、プリンタ装置 2 側の表示部 2 0 1 による表示例とを比較しながら、本発明の具体的な表示例を詳述する。まず、図 8 に示されている表示部 3 0 1 の表示例は、デフォルト画面（待機画面）である。待機中、本画

像形成装置 1 はコピーモードに設定されている。したがって、図示されているのはコピーモード画面である。

## 【 0 0 5 8 】

これに対して、プリンタ装置 2 側の表示部 2 0 1 では、ブランク表示となる。プリンタ装置 2 単体の場合には、プリンタ動作しかできないので、その待機画面は、図 9 に示すようになる。

## 【 0 0 5 9 】

次に、図 1 0 には、プリンタ装置 2 の縦搬送路 1 1 にてジャムが発生した場合の表示部 3 0 1 の表示例が示されている。図示されているように、この大型の表示部 3 0 1 には、ジャム処理の手順が図を用いて案内されている。ここでは、画像形成装置 1 の外観図の両面搬送ユニット 1 0 の部位が、ユーザの注意を引くように点滅等の他の部位と異なる形態で表示され、さらに両面搬送ユニット 1 0 を開放操作する際の操作の様態も詳細に拡大表示されている。これによって、使用者に対してジャム処理のための操作を明確に示すことが可能となる。したがって、使用者は、装置のどの部分を開放してジャム紙を取除けばよいのか等、ややこしいジャム処理の手順を一目で理解することができる。

## 【 0 0 6 0 】

これに対して、プリンタ装置 2 側の表示部 2 0 1 では、ブランク表示となる。そして、プリンタ装置 2 単体の場合には、同内容が、図 1 1 で示すように、2 行で収まるような短いカタカナ文字のメッセージで表示部 2 0 1 に表示されることになる。したがって、ジャム処理の手順が非常に分かりにくくなってしまう。

## 【 0 0 6 1 】

また、図 1 2 には、大容量の用紙収容トレイ 6 2 a, 6 3 a 内の用紙が無くなった際に、該用紙収容トレイ 6 2 a, 6 3 a に用紙を補給する場合のスキヤナ装置 3 側の表示部 3 0 1 における表示例が示されている。この場合も、図を用いて表示されており、詳細には、画像形成装置 1 の外観図において、前記用紙収容トレイ 6 2 a, 6 3 a の部位が、ユーザの注意を引くために、点滅等の他の部位とは異なる形態で表示され、さらに用紙収容トレイ 6 2 a, 6 3 a を引出し操作する際の操作の様態も詳細に拡大表示されている。これによって、使用者は、用紙

を補給する際の操作を容易に理解することができるので、操作性が向上する。

【 0 0 6 2 】

これに対して、プリンタ装置 2 側の表示部 2 0 1 では、ブランク表示となる。そして、プリンタ装置 2 単体の場合には、同内容が、図 1 3 で示すように、2 行で収まるような短いカタカナ文字のメッセージで表示部 2 0 1 に表示されることになる。したがって、用紙の補給操作が非常に分かりにくくなってしまう。

【 0 0 6 3 】

以上のように、本発明の画像形成装置 1 は、表示部 2 0 1 を備えている単独使用可能なプリンタ装置 2 に、大型の表示部 3 0 1 を搭載したスキャナ装置 3 が組合わされてシステムアップされ、通常状態では、プリンタ装置 2 を含めたシステム全体の詳細情報をスキャナ装置 3 の大型の表示部 3 0 1 のみで表示し、プリンタ装置 2 の表示部 2 0 1 はブランク表示とするので、使用者は表示の行われている一方のスキャナ装置 3 の表示部 3 0 1 のみを参照すればよく、煩雑さを解消し、操作性および利便性を向上することができる。また、省電力効果も期待することができる。

【 0 0 6 4 】

なお、表示部 2 0 1，3 0 1 で表示が行われている場合に、操作部 2 1 0，3 1 0 での入力操作を許容するようにしてもよい。このように構成することによって、使用者は、表示の行われている表示部に関連した操作部からのみ入力操作を行えばよく、該入力操作を簡単に行うことができる。

【 0 0 6 5 】

本発明の実施の他の形態について、図 1 4 ～図 1 8 に基づいて説明すれば、以下のとおりである。

【 0 0 6 6 】

本実施の形態に用いられる画像形成装置の構成は、前述の図 1 ～図 3 および図 7 で示す画像形成装置 1 の構成と同様であり、その説明を省略する。注目すべきは、本実施の形態では、プリンタ装置 2 とスキャナ装置 3 とを組合わせて使用の際に、プリンタ装置 2 の表示部 2 0 1 では、前記のブランク表示に代えて、スキャナ装置 3 の表示部 3 0 1 とは異なる内容の表示が行われることである。

## 【 0 0 6 7 】

図 1 4 の表示例は、前記表示部 3 0 1 とは異なる内容として、現在の時刻が表示されている。他にも、文字スクロール、アニメーション等の遊び感覚の表示を行うようにしてもよい。このように構成することによって、前記のように表示を確認するための煩雑さを解消しつつ、使用者に他の情報を提供することができる。

## 【 0 0 6 8 】

また、図 1 5 の表示例は、前記表示部 3 0 1 とは異なる内容として、図 1 5 ( a ) では前記図 1 4 と同様に現在の時刻が表示されており、表示部 2 0 1 に隣接した操作部 2 1 0 が操作されると、図 1 5 ( b ) に示す現在のプリンタ装置 2 のジョブ内容の表示に切換わる。このようにプリンタ装置 2 が操作された場合、使用者は該プリンタ装置 2 に関する情報を得ようとしているので、これに応じて該プリンタ装置 2 の状態を表示することで、分り易いインタフェイスを実現することができる。

## 【 0 0 6 9 】

なお、前記のプリンタ装置 2 の状態表示は、タイマーにて元の表示に戻してもよいし、前記操作部 2 1 0 のキーが操作されている間のみ、行うようにしてもよい。

## 【 0 0 7 0 】

さらにまた、図 1 6 の表示例は、前記表示部 3 0 1 とは異なる内容として、前記プリンタコントローラ 2 0 2 がスキャナ装置 3 が故障であると判断した場合に、その旨が表示されている。スキャナ装置 3 に故障が発生すると、前記表示部 3 0 1 の表示系が正常に機能しない可能性があり、通常は前述のようにブランク表示のプリンタ装置 2 側の表示部 2 0 1 で故障を報知することによって、使用者を注目させて、いち早く故障を報知することができ、故障による停止時間を低減することができる。

## 【 0 0 7 1 】

また、図 1 7 の表示例は、前記表示部 3 0 1 とは異なる内容として、図 1 7 ( a ) には前記図 1 6 と同様の故障表示が行われており、図 1 7 ( b ) には前記

図 1 5 ( b ) と同様の現在のプリンタ装置 2 のジョブ内容の表示が行われており、それらが交互に切替わっている。スキャナ装置機能が故障しても、プリンタ装置としては機能するので、プリンタ装置 2 の表示を利用して、該プリンタ装置 2 のジョブ内容の表示と、スキャナ装置 3 の故障表示とを交互に行うことで、使用者に故障を報知しつつ、プリント状態も報知することができる。

## 【 0 0 7 2 】

一方、図 1 8 の表示例は、前記表示部 3 0 1 とは異なる内容として、前記スキャナ装置 3 以外で、該プリンタ装置 2 に組合わせて使用されるオプション装置の故障を表示している。図 1 8 ( a ) は、たとえば両面搬送ユニット 1 0 の故障による両面機能が故障したことを表示しており、図 1 8 ( b ) は、たとえばシート後処理装置 5 の故障による後処理機能が故障したことを表示しており、図 1 8 ( c ) は、たとえばシート後処理装置 5 の故障でなくとも、ステープル用の針切れなどによって後処理機能が使用できないことを表示しており、図 1 8 ( d ) は、たとえば用紙供給部 6 1 が故障したことを表示している。

## 【 0 0 7 3 】

前記のオプション装置の故障は、従来では、その装置を使用するモードが選択された時に、故障で使用できない旨の表示を行うことで使用者に報知されている。たとえば、前記シート後処理装置 5 の故障の場合、スキャナ装置 3 の操作部 3 1 0 で、1 → 2 ( 片面原稿から両面コピーを得る ) モードまたは 2 → 2 ( 両面原稿から両面コピーを得る ) モードが選択された時に、「両面機能は故障しています」と表示されていた。しかしながらこれでは、故障であることの伝達が遅れ、対処が遅れる問題点があった。そこで、本実施の形態では、何れかのオプション装置に異常が認められたときには、プリンタ装置 2 の表示部 2 0 1 に異常のある箇所を表示している。これによって、スキャナ装置 3 の故障と同様に、使用者にいち早く故障を報知することができ、故障による停止時間を低減することができる。

## 【 0 0 7 4 】

本発明の実施のさらに他の形態について、図 1 9 および図 2 0 に基づいて説明すれば、以下のとおりである。

## 【 0 0 7 5 】

図 1 9 は、本発明の実施のさらに他の形態の画像形成装置 1 a の斜視図である。この画像形成装置 1 a において、前述の画像形成装置 1 に類似し、対応する部分には同一の参照符号を付して、その説明を省略する。注目すべきは、この画像形成装置 1 a では、プリンタ装置 2 a の操作パネル 2 0 0 a を覆うことができるスライドシャッタ 2 5 0 が設けられることである。このスライドシャッタ 2 5 0 は、前述のプリンタコントローラ 2 0 2 によって、その開閉が制御される。前述の画像形成装置 1 では、プリンタ装置 2 にスキャナ装置 3 を組合わせて使用する際には、プリンタ装置 2 側の表示部 2 0 1 はブランク表示であったけれども、この画像形成装置 1 a では、前記スライドシャッタ 2 5 0 が閉じられて、表示部 2 0 1 自体が使用者から視認不可能とされる。

## 【 0 0 7 6 】

すなわち、プリンタ装置 2 a の単体使用時には、図 2 0 ( a ) で示すように前記スライドシャッタ 2 5 0 は開放し、表示部 2 0 1 は使用者から視認可能となっているけれども、スキャナ装置 3 と組合わせて使用される際には、図 2 0 ( b ) で示すように前記スライドシャッタ 2 5 0 が閉じられる。

## 【 0 0 7 7 】

この場合、スライドシャッタ 2 5 0 を閉じた状態では、必ずしも表示部 2 0 1 を前記のブランク表示とする必要はなく、省電力化の効果は失われるけれども、システム変更が少なく済むように、従来と同様の表示を行っているようにしてもよい。また、同様に、スライドシャッタ 2 5 0 を開放した状態と閉じた状態とで、操作部 2 1 0 に対する入力操作の可否を切換える必要もない。

## 【 0 0 7 8 】

このように構成することによって、使用者は表示が行われているか否かを確認するまでもなく、表示部 3 0 1 自体を視認することができるスキャナ装置 3 の表示部 3 0 1 を確認すればよく、煩雑さを一層解消することができる。

## 【 0 0 7 9 】

本発明の実施の他の形態について、図 2 1 および図 2 2 に基づいて説明すれば、以下のとおりである。

## 【 0 0 8 0 】

図 2 1 は本発明の実施の他の形態の画像形成装置を実現するプリンタ装置 2 b の斜視図であり、図 2 2 はそのプリンタ装置 2 b を用いた画像形成装置 1 b の側面図である。この画像形成装置 1 b において、前述の画像形成装置 1, 1 a に類似し、対応する部分には同一の参照符号を付して、その説明を省略する。注目すべきは、この画像形成装置 1 b では、プリンタ装置 2 b の操作パネル 2 0 0 b が背面に近い上面側に設けられており、スキャナ装置 3 の操作パネル 3 0 0 は前面側に設けられていることである。

## 【 0 0 8 1 】

したがって、図 2 1 で示すように、プリンタ装置 2 b が単体で使用される際には、該プリンタ装置 2 b の操作パネル 2 0 0 b の上方には何もないので、操作パネル 2 0 0 b が、図 2 2 で示す使用者 P 1, P 2 の視認領域 W 1 1, W 1 2 内に位置し、また操作領域 W 2 1, W 2 2 内に位置することになる。このため使用者 P 1, P 2 は、該プリンタ装置 2 b の表示部 2 0 1 を視認し、また入力操作が可能となる。

## 【 0 0 8 2 】

これに対して、該プリンタ装置 2 b がスキャナ装置 3 と組合わされて使用される際には、図 2 2 で示すように、該プリンタ装置 2 b の上方にスキャナ装置 3 が配置されることになるので、使用者 P 1, P 2 は、該プリンタ装置 2 b の表示部 2 0 1 を視認することができず、また入力操作が不可能となる。このようにして、構造的に、表示部 2 0 1 の視認を可能／不可能に切換えることができる。

## 【 0 0 8 3 】

なお、上記の説明では、プリンタ装置 2 の詳細情報をスキャナ装置 3 の表示部 3 0 1 に表示するために必要な情報が、プリンタ装置 2 内のプリンタコントローラ 2 0 2 内に予め格納された構成となっているけれども、プリンタ装置 2 とスキャナ装置 3 とを組合わせてシステムアップする際に、スキャナ装置 3 の表示部 3 0 1 への表示に必要な情報を後付けにてプリンタ装置 2 内に持たせるようにしてもよい。

## 【 0 0 8 4 】



## 【発明の効果】

本発明の画像形成装置は、以上のように、それぞれに表示部を備え、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置とプリンタ装置とを少なくとも備えて構成され、複写機などとしての機能を実現する画像形成装置において、前記スキャナ装置の表示部には図形表示可能な大型の表示装置を用い、プリンタ装置の単体使用時には該プリンタ装置の表示部での表示を許容し、プリンタ装置とスキャナ装置との組合わせた使用時には、故障時などの予め定める条件を設けて、通常時には、前記スキャナ装置の表示部のみで表示を行うようにする。

## 【0085】

それゆえ、使用者は表示の行われている一方の装置の表示部のみを参照すればよく、煩雑さを解消し、操作性および利便性を向上することができる。また、省電力効果も期待することができる。

## 【0086】

また、本発明の画像形成装置は、以上のように、前記スキャナ装置およびプリンタ装置のそれぞれの表示部に関連して入力部を備え、前記表示制御部は対応する表示部での表示が許容されているか否かに応じて、前記入力部からの入力を許容するか禁止するかを決定する。

## 【0087】

それゆえ、使用者は、表示の行われている表示部に隣接した、または一体の入力部からのみ入力操作を行えばよく、該入力操作を簡単に行うことができる。

## 【0088】

さらにまた、本発明の画像形成装置は、以上のように、前記プリンタ装置に、スライドシャッタなどで実現され、表示が行われない場合に、表示部自体を使用者から視認不可能にする遮蔽部材を設ける。

## 【0089】

それゆえ、使用者は表示が行われているか否かを確認するまでもなく、表示部自体を視認することができるスキャナ装置の表示部を確認すればよく、煩雑さを一層解消することができる。

## 【0090】

また、本発明の画像形成装置は、以上のように、前記予め定める条件を、プリンタ装置で表示される情報が、たとえば目付／時間や、遊び感覚のキャラクタ等のプリンタ装置とスキャナ装置との組合わせての使用に関する情報とは個別の情報であることとする。

【 0 0 9 1 】

それゆえ、前記のように表示を確認するための煩雑さを解消しつつ、使用者に他の情報を提供することができる。

【 0 0 9 2 】

さらにまた、本発明の画像形成装置は、以上のように、前記予め定める条件を、スキャナ装置の故障とする。

【 0 0 9 3 】

それゆえ、スキャナ装置に故障が発生すると、その大型の表示部が十分に機能しない可能性があるのに対して、プリンタ装置の表示部を利用して、使用者にいち早く故障を報知することができ、故障による停止時間を低減することができる。

【 0 0 9 4 】

また、本発明の画像形成装置は、以上のように、スキャナ装置の故障に伴ってその状態をプリンタ装置側で表示するにあたって、スキャナ装置の状態と、該プリンタ装置自体の状態とを交互に表示する。

【 0 0 9 5 】

それゆえ、プリント状態も使用者に報知することができる。

【 0 0 9 6 】

さらにまた、本発明の画像形成装置は、以上のように、前記予め定める条件を、前記スキャナ装置とともに、給紙装置や排紙装置等のプリンタ装置に組合わせて使用される他のオプション装置の故障とする。

【 0 0 9 7 】

それゆえ、故障発生時に、通常は故障していることを表示せず、その機能選択時にのみ表示していたのを、前述のように大型の表示部が装着されることで通常は表示を行わない該プリンタ装置の表示部で故障部位があることを表示すること

で、使用者を注目させ、いち早く故障の発生を報知することができ、故障による停止時間を低減することができる。

【0098】

また、本発明の画像形成装置は、以上のように、前記予め定める条件を、プリンタ装置の入力部の操作とする。

【0099】

それゆえ、使用者の操作に応じて該プリンタ装置の状態を表示することで、分り易いインタフェースを実現することができる。

【0100】

さらにまた、本発明の画像形成装置は、以上のように、それぞれに表示部を備え、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置とプリンタ装置とを少なくとも備えて構成される画像形成装置において、前記スキャナ装置の表示部として図形表示可能な大型の表示装置を前面側に搭載し、前記プリンタ装置の表示部を背面に近い上面側に設ける。

【0101】

それゆえ、プリンタ装置にスキャナ装置を組合わせて使用する際には、上方にスキャナ装置が配置されることになるので、使用者は該表示部を視認することができなくなり、表示部の確認の煩雑さを解消し、操作性および利便性を向上することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の一形態の画像形成装置の縦断面図である。

【図2】

図1で示す画像形成装置におけるプリンタ装置およびスキャナ装置の表示制御に関する構成を示すブロック図である。

【図3】

前記スキャナ装置に設けられる操作パネルの正面図である。

【図4】

前記スキャナ装置の操作パネルの表示部におけるデフォルト画面であるコピー

モード画面を示す図である。

【図 5】

前記スキャナ装置の操作パネルの表示部におけるイメージセンドモード画面を示す図である。

【図 6】

前記スキャナ装置の操作パネルの表示部におけるジョブの進行状態画面を示す図である。

【図 7】

前記プリンタ装置に設けられる操作パネルの正面図である。

【図 8】

前記スキャナ装置の操作パネルの表示部におけるデフォルト画面であるコピーモード画面を示す図である。

【図 9】

プリンタ装置単体の場合でのデフォルト画面を示す図である。

【図 1 0】

プリンタ装置の縦搬送路にジャムが発生した場合のスキャナ装置の表示部におけるの表示例を示す図である。

【図 1 1】

プリンタ装置の単体使用時に、該プリンタ装置の縦搬送路にジャムが発生した場合の表示部の表示例を示す図である。

【図 1 2】

大容量の用紙収容トレイに用紙を補給する場合のスキャナ装置の表示部における表示例を示す図である。

【図 1 3】

プリンタ装置の単体使用時に、該プリンタ装置の大容量の用紙収容トレイに用紙を補給する場合の表示部の表示例を示す図である。

【図 1 4】

本発明の実施の他の形態の画像形成装置におけるプリンタ装置での一表示例を示す図である。

【図 1 5】

本発明の実施の他の形態の画像形成装置におけるプリンタ装置での他の表示例を示す図である。

【図 1 6】

本発明の実施の他の形態の画像形成装置におけるプリンタ装置でのさらに他の表示例を示す図である。

【図 1 7】

本発明の実施の他の形態の画像形成装置におけるプリンタ装置での他の表示例を示す図である。

【図 1 8】

本発明の実施の他の形態の画像形成装置におけるプリンタ装置でのさらに他の表示例を示す図である。

【図 1 9】

本発明の実施のさらに他の形態の画像形成装置の斜視図である。

【図 2 0】

図 1 9 で示す画像形成装置におけるスライドシャッタの動作を説明するための斜視図である。

【図 2 1】

本発明の実施の他の形態の画像形成装置を実現するプリンタ装置の斜視図である。

【図 2 2】

図 2 1 で示すプリンタ装置を用いた画像形成装置の側面図である。

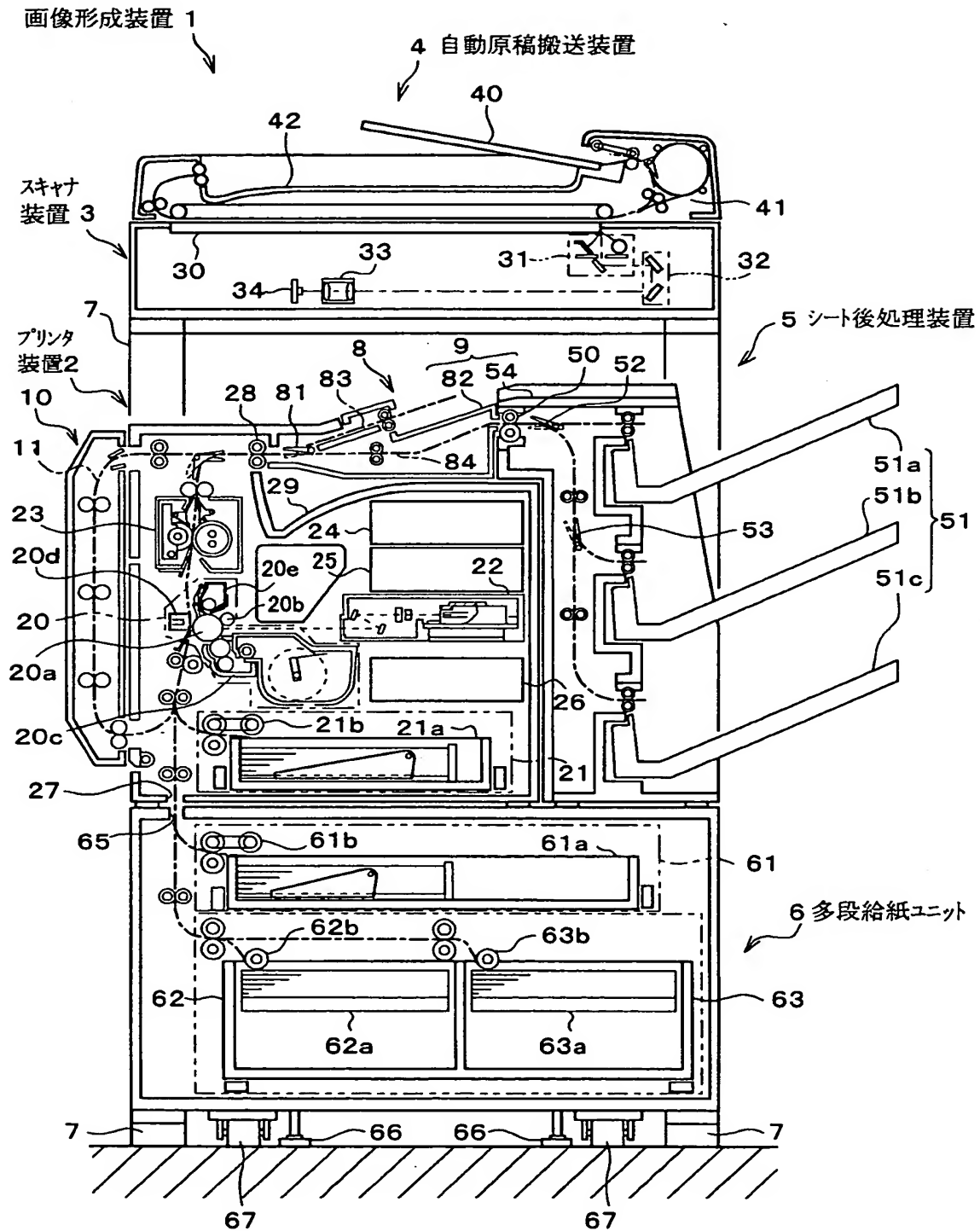
【符号の説明】

- 1, 1 a, 1' b      画像形成装置
- 2, 2 a, 2 b      プリンタ装置
- 3                  スキャナ装置
- 4                  自動原稿搬送装置
- 5                  シート後処理装置
- 6                  多段給紙ユニット

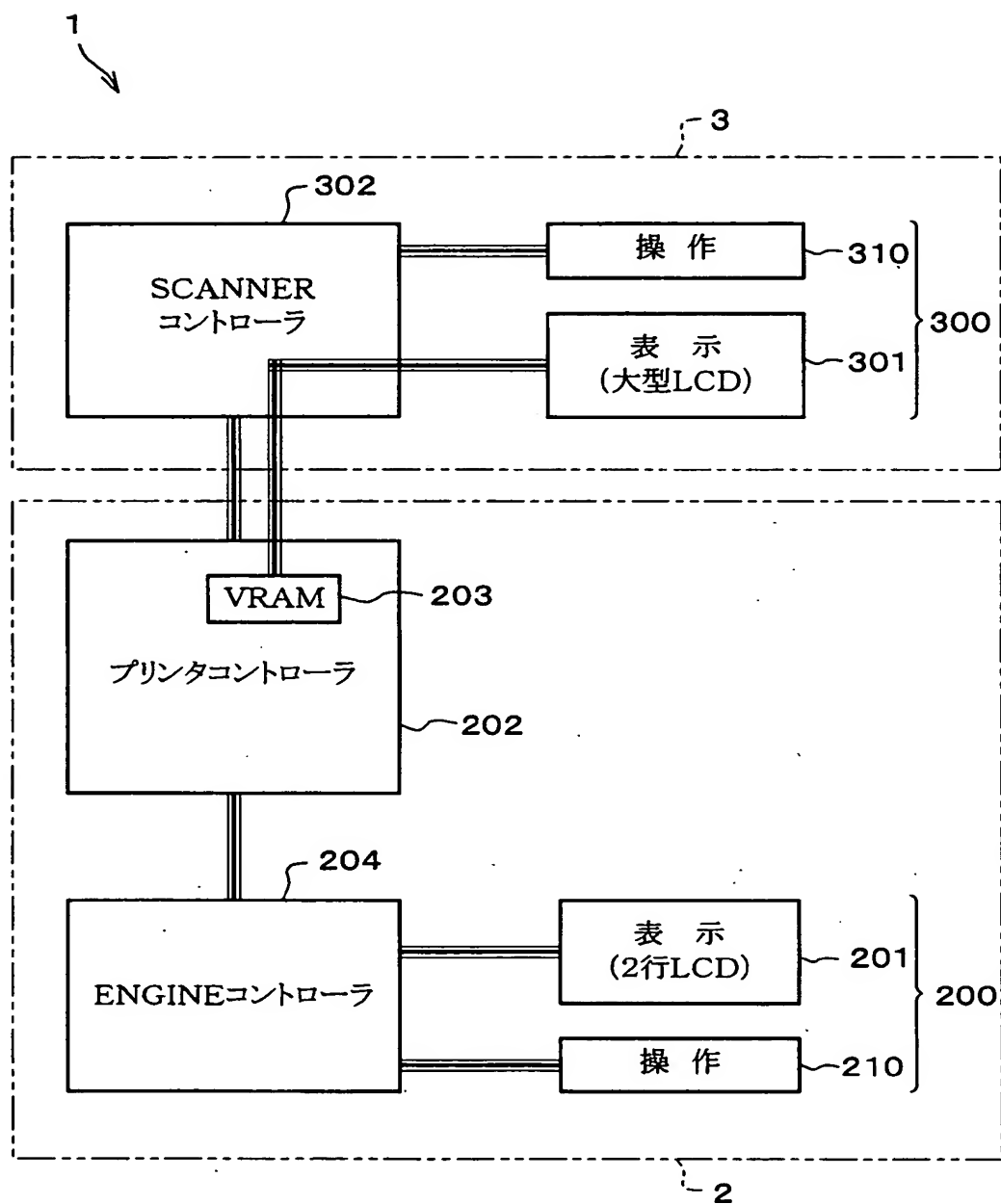
- 7 システムラック
- 8 中継搬送ユニット
- 1 0 両面搬送ユニット
- 1 1 両面搬送路
- 2 0 電子写真プロセス部
- 2 0 a 感光体
- 2 1, 6 1, 6 2, 6 3 用紙供給部
- 2 2 光走査ユニット
- 2 3 定着装置
- 2 4 装置制御部
- 2 5 画像制御部
- 2 6 電源ユニット
- 5 1 排紙トレイ
- 3 0 原稿載置台
- 3 4 光電変換素子
- 2 0 0, 2 0 0 a, 2 0 0 b 操作パネル
- 2 0 1 小型の表示部
- 2 0 2 プリンタコントローラ (表示制御部)
- 2 0 3 V R A M
- 2 0 4 ENGINEコントローラ
- 2 0 5 表示部 ( L E D )
- 2 1 0 操作部
- 2 5 0 スライドシャッタ (遮蔽部材)
- 3 0 0 操作パネル
- 3 0 1 大型の表示部
- 3 0 2 SCANNER コントローラ (表示制御部)
- 3 1 0 操作部

【書類名】 図面

【図 1】

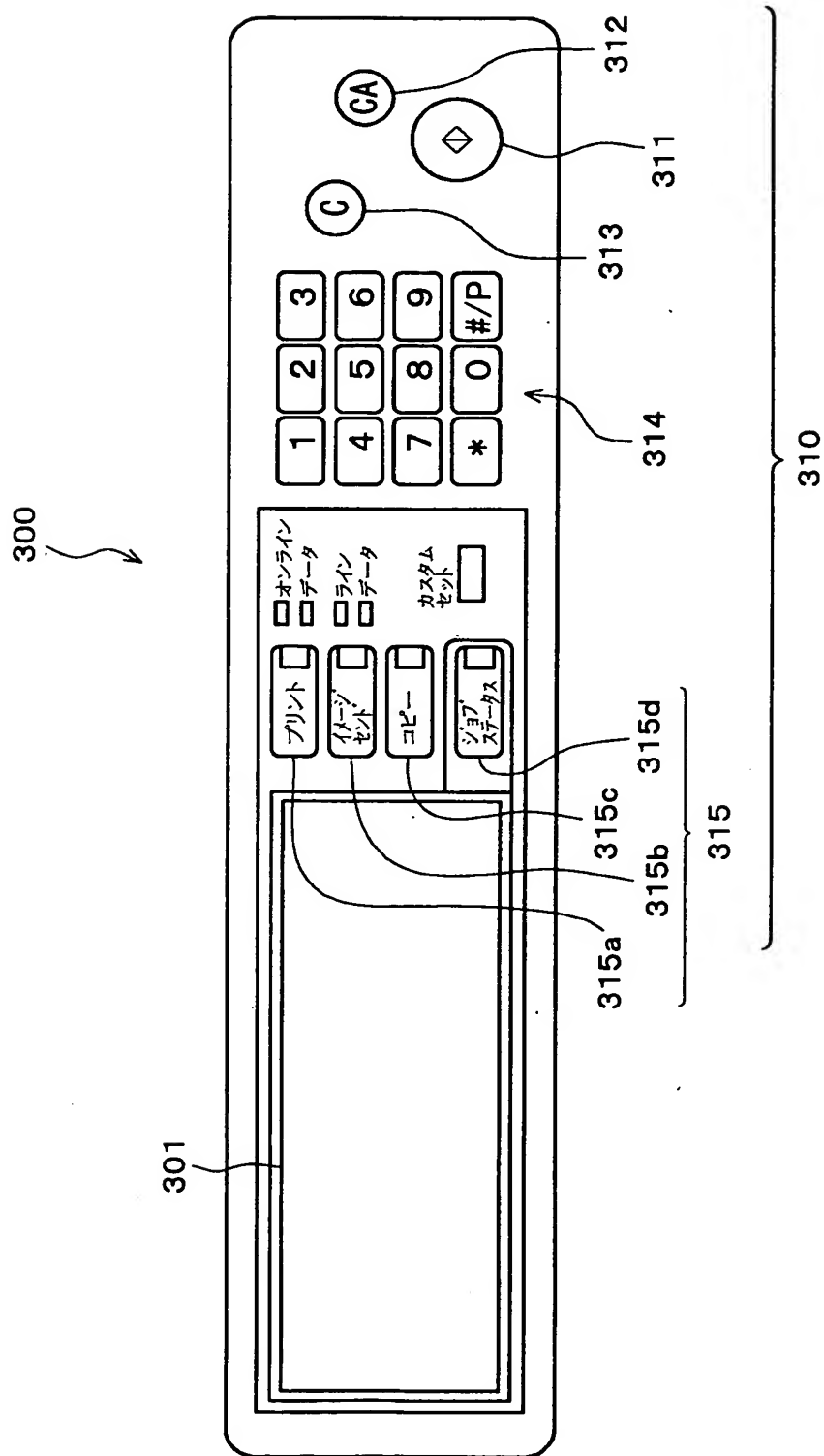


【図 2】

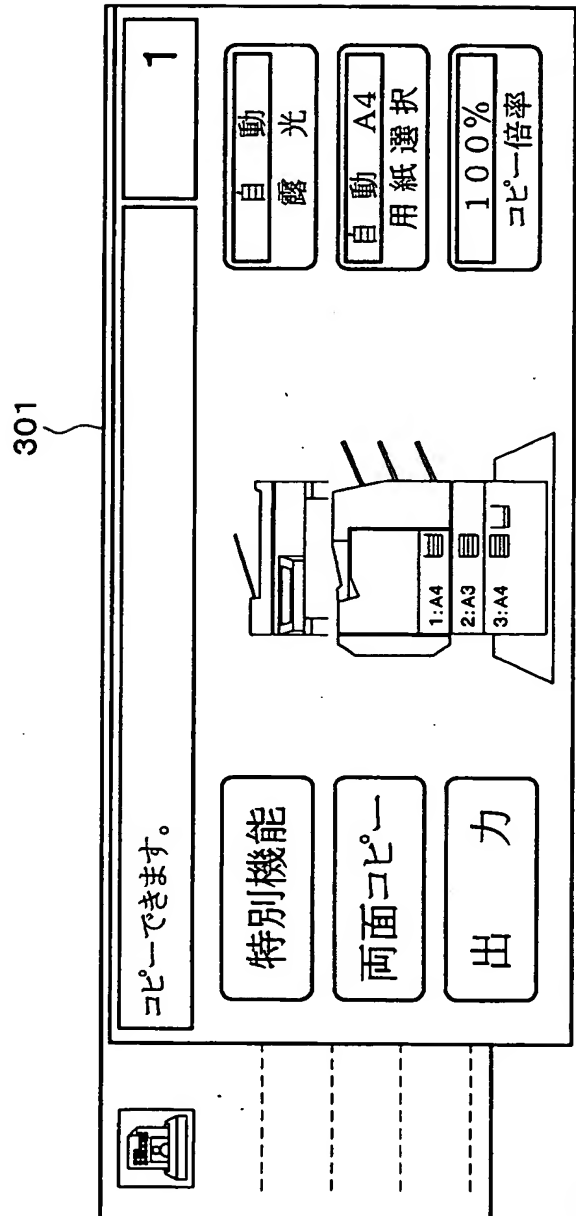




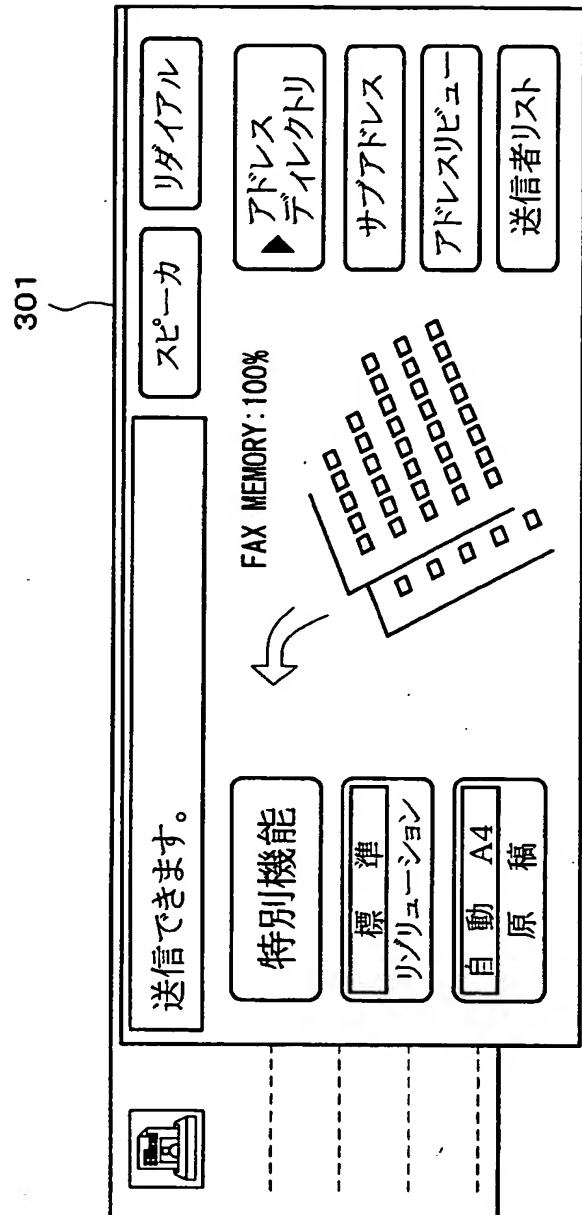
【図 3】



【図 4】















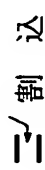
【図 5】



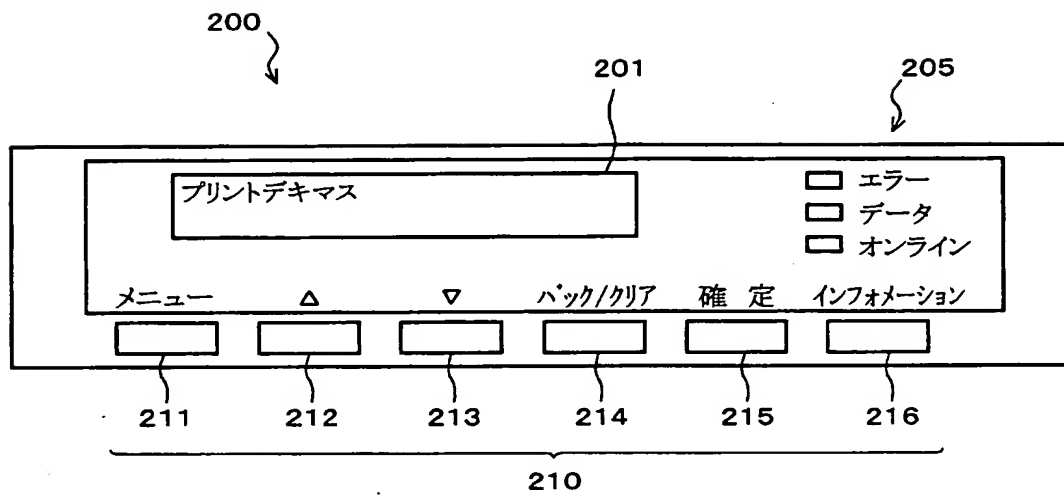
【図 6】

301

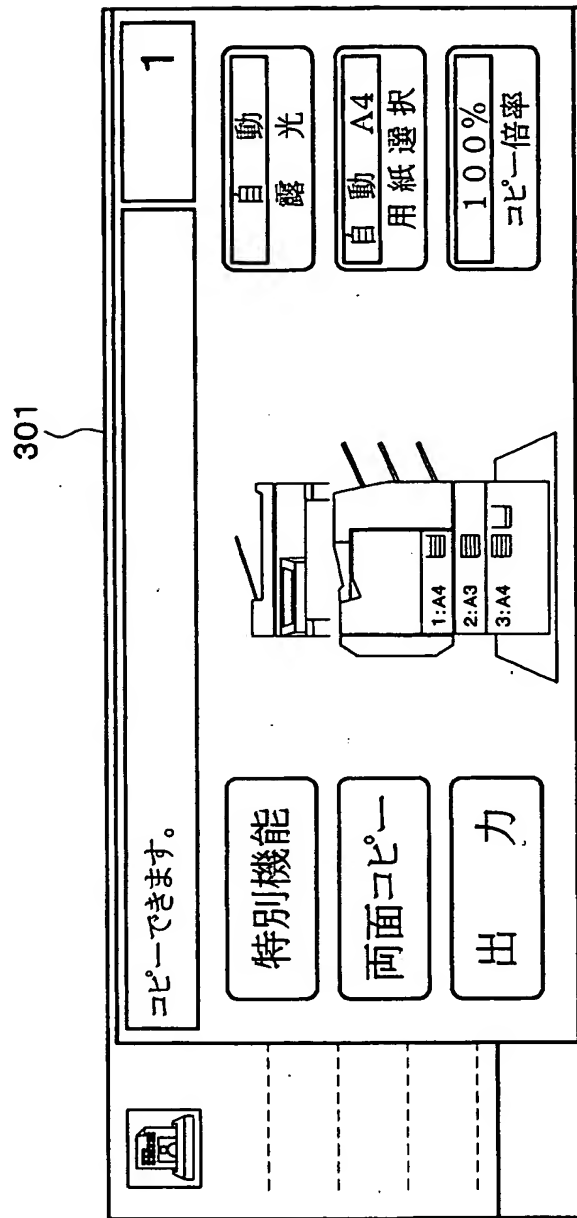
	ユーザ名/ モード名	受付日時	枚数	ステータス	 ショーキュー 完了
1 	OKAMOTO	14:15 12/09	007/015	実行中	1/2
2 	MATUMOTO	14:17 12/09	000/007	待機中	
3 	0743XXXXXX	14:18 12/09	000/003	待機中	

 プリントジョブ  E-メールジョブ  FAXジョブ  AJ  全ジョブ  二割込

【図 7】



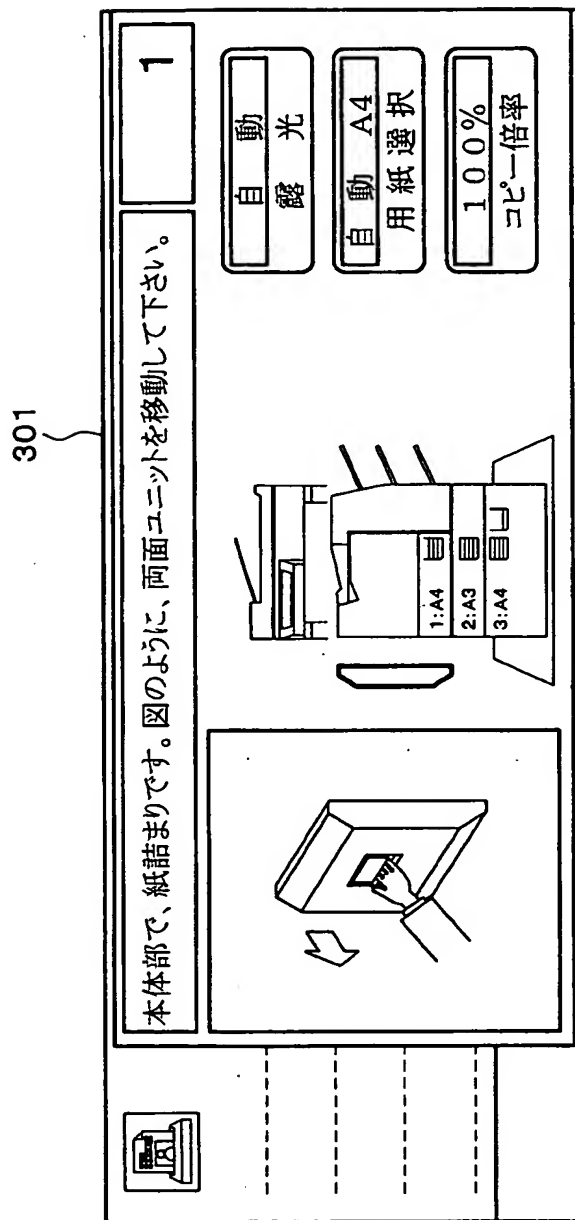
【図 8】



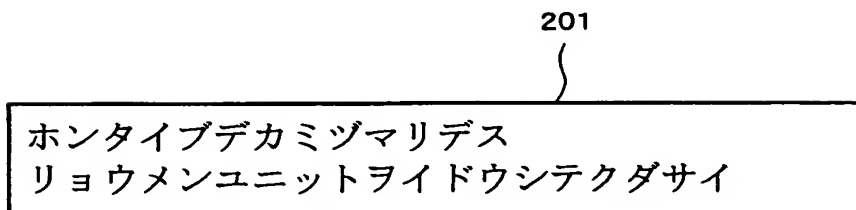
【図 9】



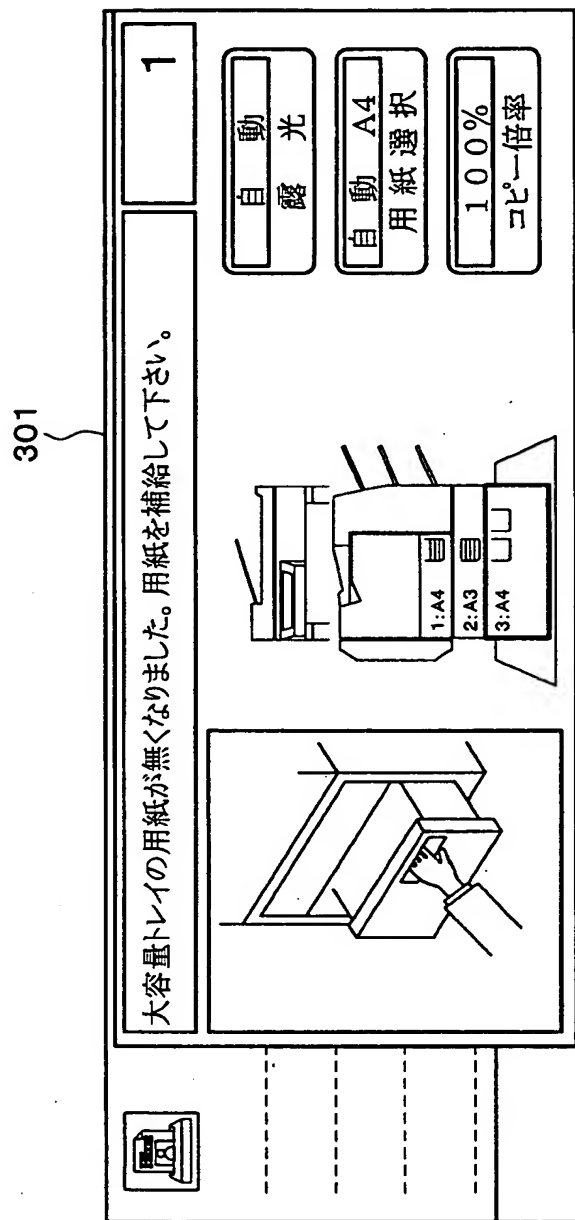
【図 10】



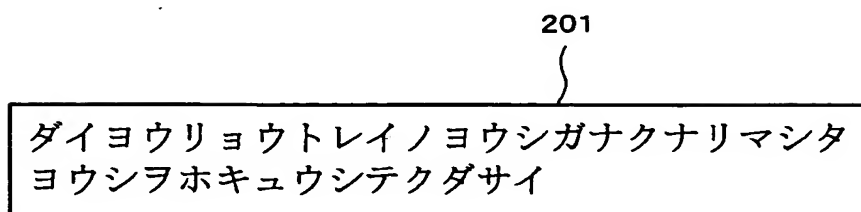
【図 11】



【図 12】

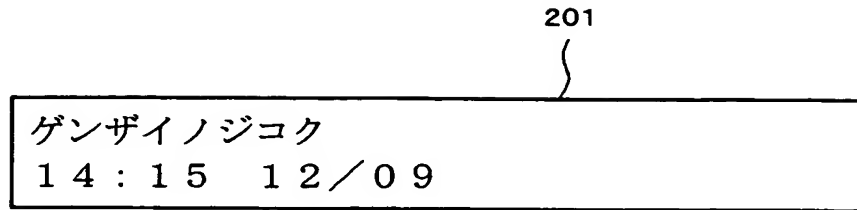


【図 13】

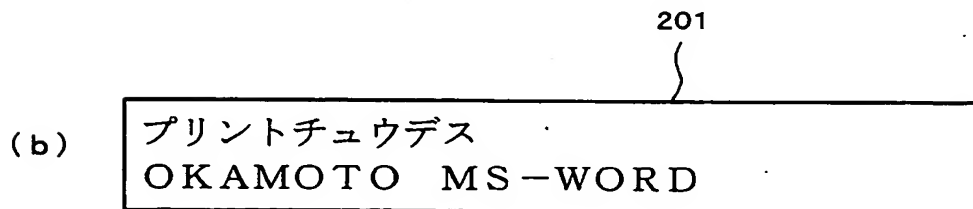
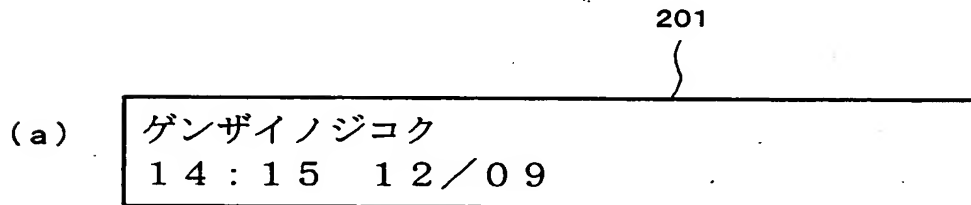




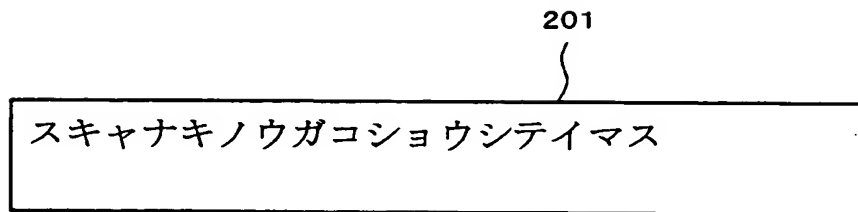
【図 14】



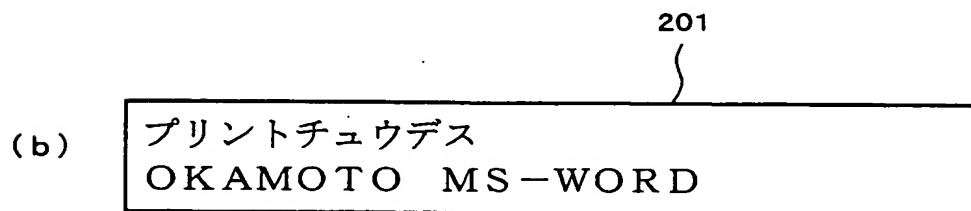
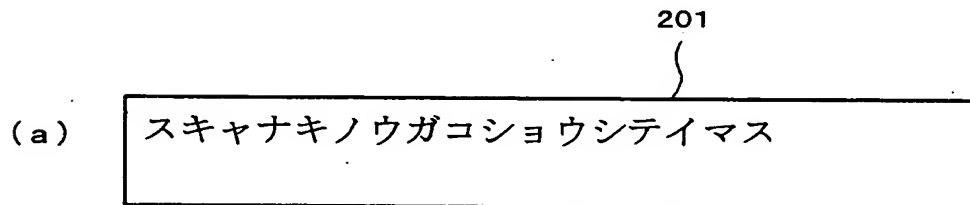
【図 15】



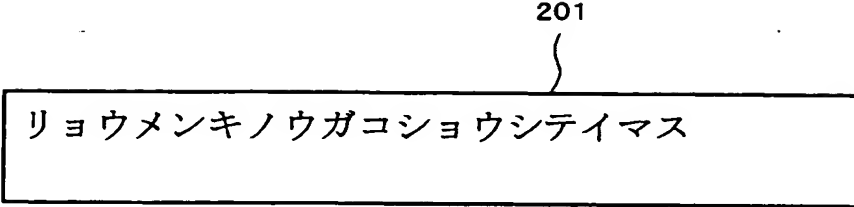
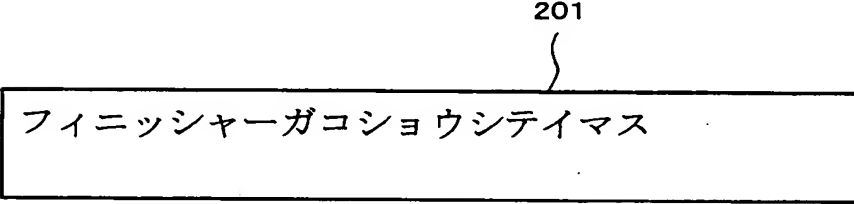
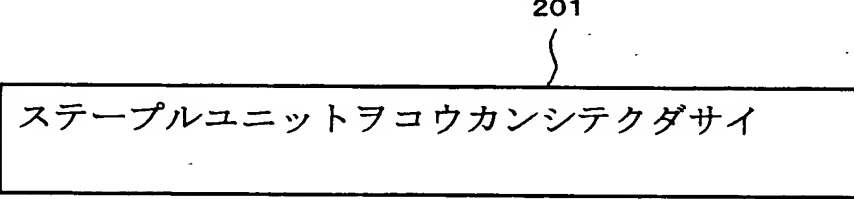
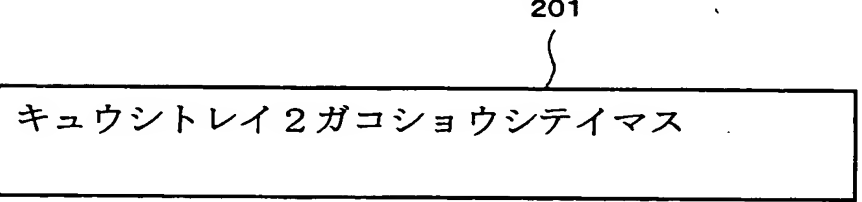
【図 16】



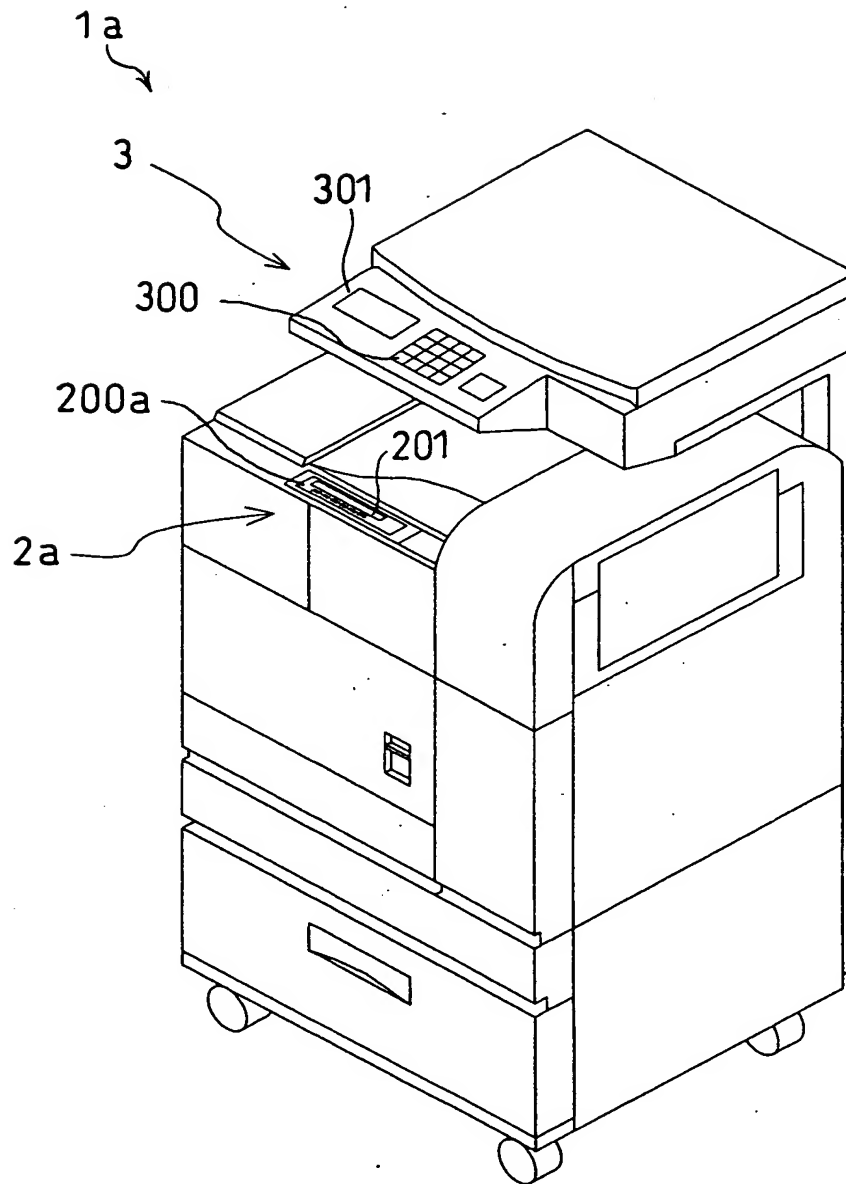
【図 17】



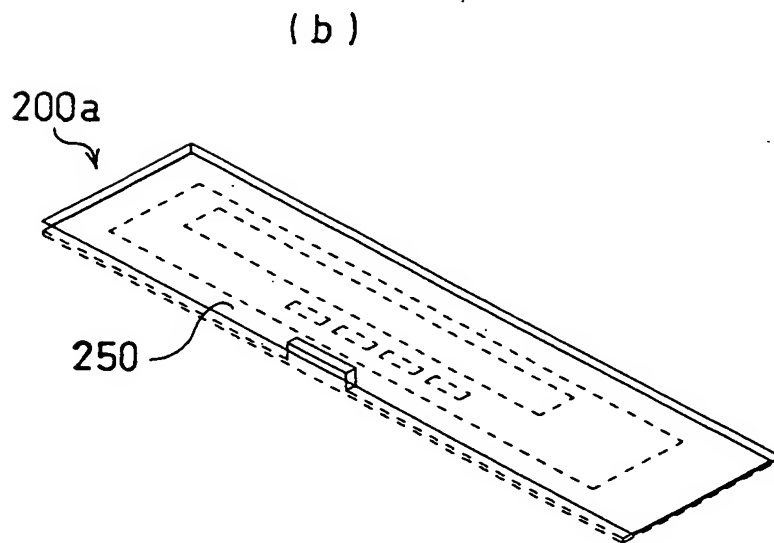
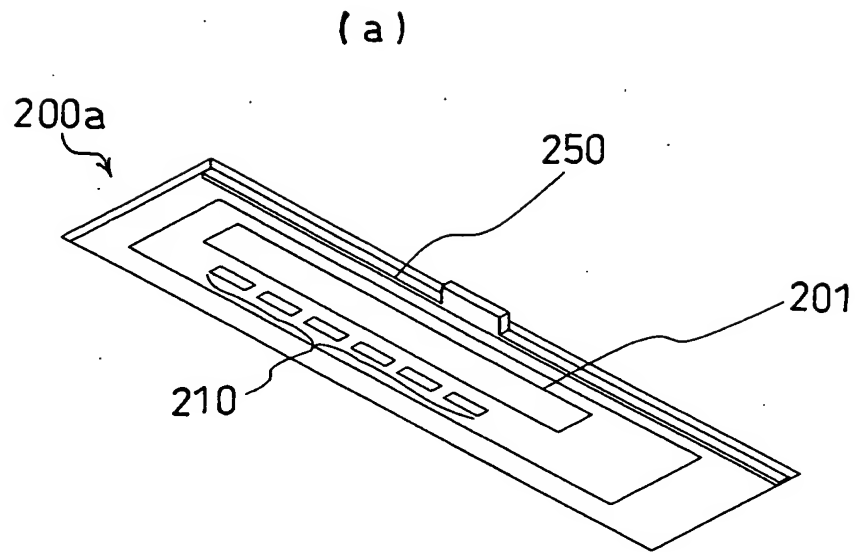
【図 18】

- (a)  201  
リョウメンキノウガコショウシテイマス
- (b)  201  
フィニッシャーガコショウシテイマス
- (c)  201  
ステーブルユニットヲコウカンシテクダサイ
- (d)  201  
キュウシトレイ2ガコショウシテイマス

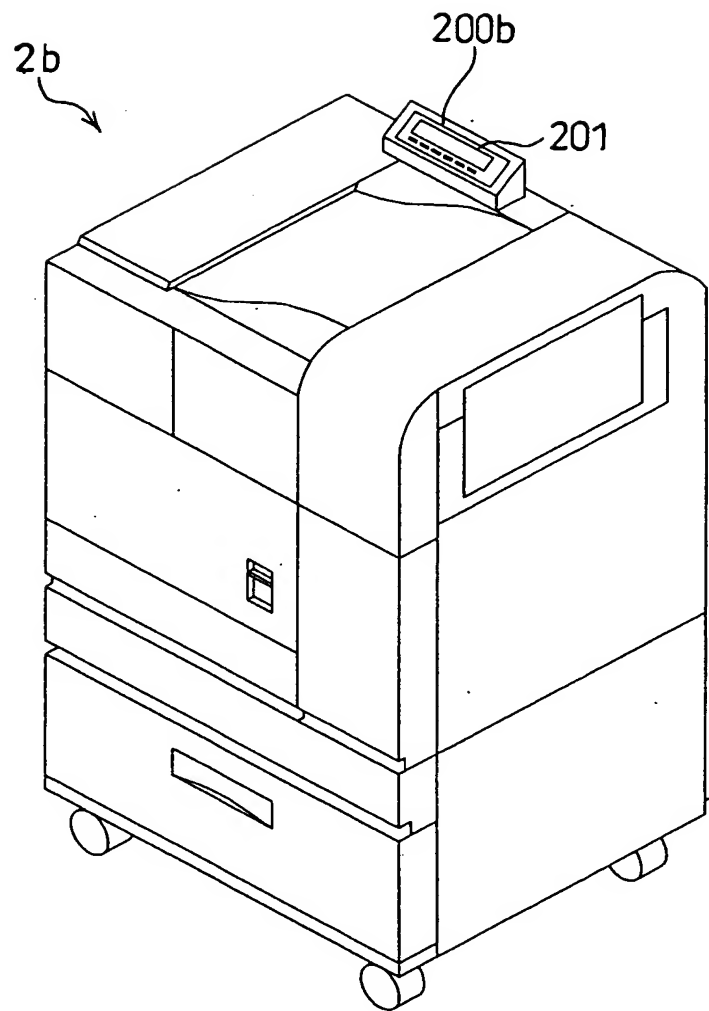
【図 1 9】



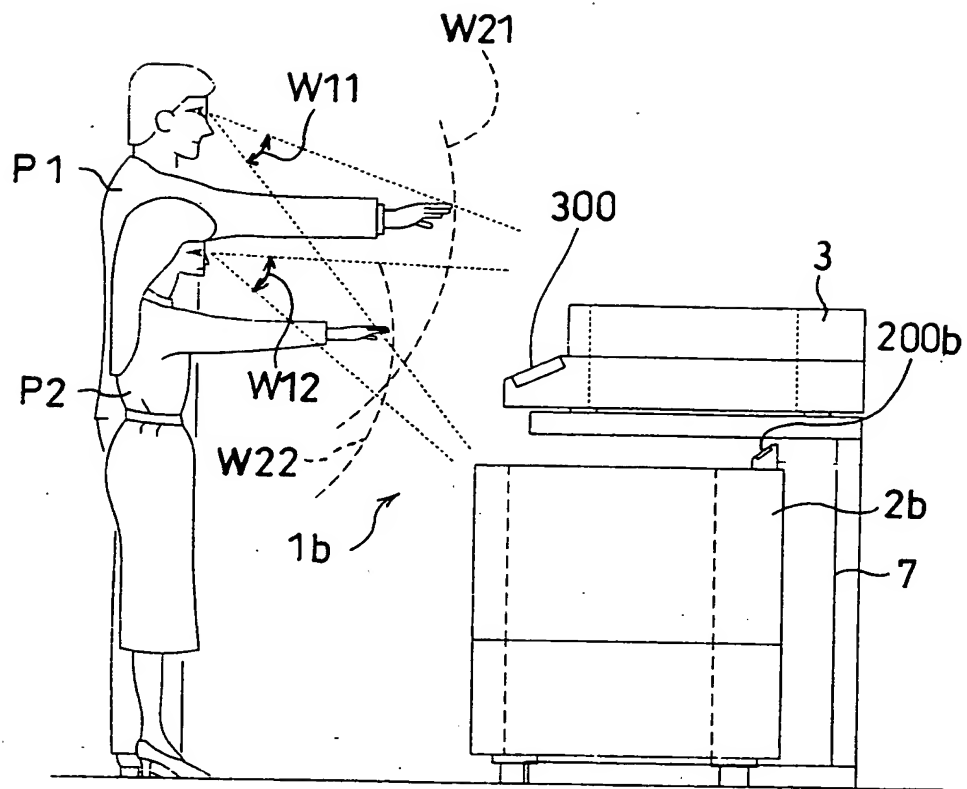
【図 2 0】



【図 2 1】



【図 22】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 それぞれに表示部 3 0 1, 2 0 1 を備え、相互に別体に構成されて単体動作可能なスキャナ装置 3 とプリンタ装置 2 とを少なくとも備えて構成される画像形成装置 1 において、スキャナ装置 3 の大型の表示部 3 0 1 を有効に使用することができるとともに、表示部 3 0 1 の参照にあたっての煩雑さを解消する。

【解決手段】 プリンタ装置 2 の単体使用時には該プリンタ装置 2 の表示部 2 0 1 での表示を許容し、複写機動作などのプリンタ装置 2 とスキャナ装置 3 との組合わせての使用にあたって、通常時には、前記スキャナ装置 3 の表示部 3 0 1 のみで表示を行うようにする。これによって、使用者は表示の行われているスキャナ装置 3 の表示部 3 0 1 のみを参照すればよく、煩雑さを解消し、操作性および利便性を向上することができる。また、省電力効果も期待することができる。

【選択図】 図 2



出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005049]

1. 変更年月日	1990年 8月29日
[変更理由]	新規登録
住 所	大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号
氏 名	シャープ株式会社